富山市教育委員会会議録
平成３０年４月定例会

１　日　　時　　平成３０年４月２４日(火曜日)
午後　４時　　　　開会
午後　４時４５分　閉会

２　場　　所　　本庁７階　教育委員会室

３　出席委員

教育長	宮口　克志
委員	若林　啓介
委員	尾畑　納子
委員	藤井　久丈
委員	高田　健

４　説明のために出席した者

事務局長	立花　宗一
事務局次長（総務・社会教育担当）	酒井　秀祐
事務局次長（学校教育担当）	高木　健吉
教育総務課長	光岡　伸一
参事（統合校整備等推進室長）	岸　重臣
学校施設課長	佐伯　誠司
学校教育課長	豊田　高久
学校保健課長	古川　安代
生涯学習課長	竹井　博文
郷土博物館長	井村　寿恵

５　職務のため会議に出席した事務局職員

教育総務課主幹	平井　聖子
教育総務課課長代理（管理係長）	桑名　純一
教育総務課主査	日南田　司

６　傍聴人数　　０人

７　付議案件
（１）議案
議案第１６号　　富山市教科用図書採択協議会の設置について
議案第１７号　　富山市学校運営協議会委員の委嘱について
議案第１８号　　富山市教育支援委員会委員の委嘱について

（２）報告事項

報告事項１２　　　市立学校の耐震化の状況等について

報告事項１３　　　平成３０年度富山市学校教育指導方針について

報告事項１４　　　学校閉庁の実施について

（３）その他

その他５　郷土博物館企画展

「神保の城 佐々の城　―富山市内の戦国城館―」

その他６　佐藤記念美術館企画展

「東洋のやきもの」

８　会議の要旨

【開会】

［教育長］　　　開会を宣言する。
本日は委員全員の出席があるため、会議は成立している。

［事務局長等］　定期人事異動により事務局職員に異動があったことから改めて挨拶。
（事務局長、事務局次長（総務・社会教育担当、学校教育担当））

【３月会議録について】

［教育長］　　　３月教育委員会定例会会議録について意見等を求める。

［各委員］　　　（意見なし）

［教育長］　　　意見なしのため、前回会議録は承認された。

【議案第１６号】

［教育長］　　　議案第１６号について事務局から説明を求める。

［学校教育課長］（議案第１６号について説明）

［教育長］　　　ただ今の件について、質問等あるか。

［各委員］　　　質問等なし。

［教育長］　　　採決を行う。議案第１６号について、異議があるか。

［各委員］　　　異議なし。

［教育長］　　　異議なしと認める。よって、議案第１６号は原案のとおり可決した。

【議案第１７号】

［教育長］　　　議案第１７号について事務局から説明を求める。

［学校教育課長］（議案第１７号について説明）

［教育長］　　　ただ今の件について、質問等あるか。

[尾畑委員]　学校によって委員数にばらつきがあるが、地域の事情によるものか。
[学校教育課長]　最大１５人と定められており、学校の実情に応じて委員を選出している。
[尾畑委員]　最低人数は定められているのか。
[学校教育課長]　定めはない。
[若林委員]　任期の開始日が学校によって異なるのはなぜか。
[学校教育課長]　各学校で行う学校運営協議会の第１回目の開催日を任期の開始日としている。
[藤井委員]　中学校によって、周辺の小学校長が委員に含まれている場合もあれば、含まれていないこともある。
構成委員の選定について、基準や参考としているものはあるのか。
[学校教育課長]　学校運営協議会で小中連携を図っている学校もあれば、そのほかの会合などで小中連携を図っている学校もある。各学校の実情に応じて、委員が選ばれている。
[高木事務局次長]　学校運営協議会の設置要綱には、地域の代表、保護者の代表、校長等で組織することと定められている。また、組織づくりの負担が軽減されるよう、富山市がこれまで進めてきた学校評議員の組織や、地域の諸団体など、既存の組織を活かすよう示されている。
[教育長]　採決を行う。議案第１７号について、異議があるか。
[各委員]　異議なし。
[教育長]　異議なしと認める。よって、議案第１７号は原案のとおり可決した。

【議案第１８号】

[教育長]　議案第１８号について事務局から説明を求める。
[学校教育課長]　（議案第１８号について説明）
[教育長]　特別支援学校の校長が３人から２人に減り、中学校長が１人増えたということでよいか。
[学校教育課長]　その通りである。
[若林委員]　教育支援委員会はどの程度の頻度で実施され、どのような協議が行われているのか。
[学校教育課長]　会議は年３回（１０月下旬、１１月中旬、１１月下旬）開催しており、対象となる児童が、通常の学校と特別支援学校 や、通常の学級と特別支援学級 のどちらに就学すべきか、検討を行っている。
[若林委員]　次の年度に入学する児童について検討を行っているということでよいか。
[学校教育課長]　その通りである。
[教育長]　児童によっては、知的障害と情緒障害が重複している場合がある。そういった場合にどちらが適しているか検討するため、大学教授や医師といった専門家による医学的見地から見て、総合的に判断していくこととしている。

［高田委員］　特別支援学校長を３人から２人に減らした理由は。
［学校教育課長］　委員の中に、肢体不自由の支援を行っている特別支援学校の校長が２人いたため、富山市を担当する特別支援学校の校長を引き続き選出する方向で調整したものである。平成２９年度は特別支援学校の校長が３人いたが、平成２８年度までは２人だった。
［教育長］　採決を行う。議案第１８号について、異議があるか。
［各委員］　異議なし。
［教育長］　異議なしと認める。よって、議案第１８号は原案のとおり可決した。

【報告事項１２】

［教育長］　報告事項１２について事務局から説明を求める。
［学校施設課長］　（報告事項１２について説明）
［教育長］　本件について、質問等はあるか。
［藤井委員］　前回の報告と比べ、急激に Is 値が下がった建物はあるのか。あればそうした建物にはどう対応しているのか。また危険なところはあるのか。
［学校施設課長］　基礎部分に問題があった建物について、基礎部分を含めた耐震診断を行った結果、大久保小学校と上条小学校については Is 値が大幅に下がった。
大久保小学校については、耐震補強ができない棟は解体することとし、耐震補強が可能な棟は、当初の方針通り耐震補強を実施することとしている。
上条小学校については、耐震化の必要がある棟全てで、耐震補強ができないとの調査結果が出たため、改築することで基本設計を進めることとしている。
そのほかの学校についても、Is 値が若干下がったものはあるが、当初から耐震補強工事が困難なものであるため、当初の方針通り、改築することで基本設計を進めることとしている。
［若林委員］　今回の方針転換により、前回の報告で示された耐震化の完了時期は遅れるのか。
［学校施設課長］　現時点では、前回報告した平成 33 年度末までに耐震化を完了するという計画から遅れることはない。改築する学校については、仮設校舎を建設するため、児童・生徒は仮設校舎に移動し、安全は確保される。
［尾畑委員］　耐震化の完了時期までに何も起こらない保障はない。何か起こったとしても、被害が最小限となるように方策を講じてほしい。
［教育長］　学校において、避難場所などの周知については常に行っている。
今回あらためて意見があったので、再検討していく。

【報告事項１３】

［教育長］　報告事項１３について事務局から説明を求める。

［学校教育課長］　（報告事項１３について説明）
［教育長］　本件について、質問等はあるか。
［若林委員］　昨年と比べ主な変更点はどこか。
［学校教育課長］　道徳が教科化されることに伴い、指導事例などが追加されている。また、今日的な課題への対応としてプログラミング教育が追加されている。
［尾畑委員］　今日的な課題とは、新しい教育的課題のみを指すのか。例えば、グローバル化に伴う英語教育は含まれているのか。
［学校教育課長］　英語については、今日的な課題ではなく「言語活動などの充実」で推進するように位置付けている。
今日的な課題としては、プログラミング教育や、教職員の働き方改革に合わせた部活動への関わり方などを想定している。また、近年の教職員の大量退職により、若い教職員が増えていることから、そういった教職員の資質・能力の向上を課題として考えている。

【報告事項１４】

［教育長］　報告事項１４について事務局から説明を求める。
［学校教育課長］　（報告事項１４について説明）
［教育長］　本件について、質問等はあるか。
［各委員］　質問等なし。

【その他】

［教育長］　その他５について事務局から説明を求める。
［郷土博物館長］　（その他５について説明）
［教育長］　ただ今の件について、質問等あるか。
［各委員］　質問等なし。

［教育長］　その他６について事務局から説明を求める。
［郷土博物館長］　（その他６について説明）
［教育長］　ただ今の件について、質問等あるか。
［各委員］　質問等なし。

［教育長］　他に何かあるか。
［若林委員］　富山市には、江戸時代から続く薬業や配置薬の産業があり、現在のジェネリック医薬品産業の発展へとつながっている。
また、薬業から派生して、富山市が力を入れているガラス産業の発展へと広がりを見せているが、これが十分に市民に理解されていないように思う。
富山の薬業について小学校高学年のうちから理解を深めるため、社会科などの授業で利用する副読本を作ってはどうか。例えば、札幌市で

はラーメンについてそういったものを作っている。

［学校教育課長］　高学年向けの副読本について、学校教育課で対応していきたい。

［尾畑委員］　類似のものはないのか。

［教育長］　社会科の副読本は数種類あるが、富山市全体の産業を網羅したものであり、薬業に特化したものはない。

［若林委員］　将来的には薬業に関する展示館のような施設を検討されているとも聞いている。

小学校高学年のころから、薬業に関する理解を深め、将来的には、職業としてそういった分野のことを考えてもらえるようになればありがたい。

［教育長］　学校教育課が中心となって、教育委員会で検討していく。

【閉会】

［教育長］　閉会を宣言する。